

令和7年度 地域支援事業について

地域支援事業は、被保険者が要介護状態又は要支援状況となることを予防するとともに、要介護状態となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とする。

地域支援事業は、介護保険法第115条の45に位置付けられ、介護保険料や国庫の交付金が財源に充てられる。

①介護予防・日常生活支援総合事業について

- 要支援者の多様なニーズに、要支援者の能力を最大限活かしつつ、多様なサービスを提供する仕組み。
- 生活支援の充実、高齢者の社会参加・支えあい体制づくり、介護予防の推進、関係者間の意識共有と自立支援に向けたサービスの推進等を基本に事業を実施。
- 住民主体のサービス利用、認定に至らない高齢者の増加、重度化予防推進により結果として費用の効率化。

◆介護予防・生活支援サービス事業

- 対象者は、要支援者に相当する者
 - ① 要支援認定を受けた者
 - ② 基本チェックリスト該当者（事業対象者）

事業	内容	備考
訪問型サービス	掃除、洗濯等の日常生活上の支援を提供	既存の訪問介護事業所、シルバー人材センター
通所型サービス	機能訓練や集いの場など日常生活上の支援を提供	既存の通所介護事業所、稲津いなほ
介護予防 ケアマネジメント	総合事業によるサービス等が適切に提供できるように行うケアマネジメント	

◎訪問型サービス費（第1号訪問事業費）

単位：件、千円

区 分	令和6年度		令和7年度	
	件 数	費用額	件 数	費用額
訪 問 型 サ ー ビ ス	1,211	28,734	1,145	28,620
基 準 緩 和 型 サ ー ビ ス	46	56	0	0
計	1,257	28,790	1,145	28,620

※前年度3月～当年度2月提供分

◎通所型サービス費（第1号通所事業費）

単位：件、千円

区 分	令和6年度		令和7年度	
	件 数	費用額	件 数	費用額
通 所 型 サ ー ビ ス	2,498	72,057	2,814	80,383

※前年度3月～当年度2月提供分

◎通所型サービス費（通所型サービスB）

単位：人、千円

区 分	令和6年度		令和7年度	
	参加者数	補助額	参加者数	補助額
地域住民の主体的活動	459	360	404	360

◎介護予防ケアマネジメント費（第1号介護予防支援事業費）

単位：件、千円

区 分	令和6年度		令和7年度	
	件 数	費用額	件 数	費用額
介護予防ケアマネジメント	1,631	7,583	1,721	8,043

※前年度3月～当年度2月提供分

【第9期計画指標実績】

指標名 [単位]	R4	R5	R6	R7	R7計画
平均自立期間(要介護2以上)男性[年齢]	80.3	81.0	80.6	80.3	80.9
平均自立期間(要介護2以上)女性[年齢]	85.0	85.0	84.8	84.3	85.6
要介護(要支援)認定率[%]	15.5	15.8	16.0	16.4	16.1
認定調査票の点検[件数]	全件	全件	全件	全件	全件
ケアプランの点検[件数/年]	24	22	14	11	40
福祉用具購入・貸与に関する実態調査[件数/年]	13	13	12	5	20
住宅改修に関する実態調査[件数]	全件	全件	全件	全件	全件
縦覧点検、医療情報との実合[件数]	継続	継続	全件	全件	全件

◆一般介護予防事業

○対象者:第1号被保険者のすべての者、その支援のための活動に関わる者

事業	内容	備考
介護予防普及啓発事業	介護予防活動の普及啓発を行う	各種介護予防教室等
地域介護予防活動支援事業	住民主体の介護予防活動の育成・支援を行う	自主グループ活動支援、高齢安心支えあい活動の担い手養成等
地域リハビリテーション活動支援事業	介護予防の取り組みを強化するため、通所、訪問、通いの場等へのリハビリ専門職等による助言等を実施	リハビリ職を活用した相談事業、予防教室

◎介護予防普及啓発事業及び地域リハビリテーション活動支援事業

区 分	令和6年度		令和7年度		活 動 内 容
	回 数	延べ参加人数	回 数	延べ参加人数	
教 室	144	1,986	139	1,988	節目教室(からだづくり教室)、シルバーリハビリ体操講習会等
教 育	27	398	28	442	長寿クラブ、いきいきサロン等への出張講座
相談(包括)	17	382	21	468	サロン等への健康相談
相談(その他)	6	18	6	20	ひざ痛・腰痛個別相談(R7年度で終了)

◎高齢者安心支えあい事業

地域の高齢者に関する支援活動を奨励することで、支援活動を行う者自身がいきがいを見だし、社会参加を通じた介護予防の推進及び地域における支えあい活動の活性化を目的とする。

登 録 者		令和6年度	令和7年度
	登録会員数	64 人	72 人
	受入機関	30 施設	33 施設
	受入高齢者	18 人	19 人
活 動 数		令和6年度	令和7年度
	介護予防に関する活動	246 件	245 件
	高齢者施設での活動	71 件	105 件
	高齢者の日常生活に関する活動	65 件	83 件
合 計		382 件	433 件
商品券交換者数		30 人	29 人

※高齢者の日常生活に関する活動

- ・軽度の家事援助(ゴミ出し、電球交換、家具の移動、布団干し等)
- ・散歩(ウォーキング・ジョギング)等の軽度な運動の付き添い
- ・傾聴

【第9期計画指標実績】

指標名 [単位]	R4	R5	R6	R7	R7計画
介護予防教室及び出前講座の参加者数[延べ人数]	1,625	1,890	2,766	2,918	2,400
介護予防の自主グループ登録団体数[団体数]	23	24	21	23	24
ささエール会員登録者数[会員数]	52	59	64	72	80
ぎふ・さわやか口腔健診受診率[%]	-	-	8.2	8.8	9.2

②主要な包括的支援事業・任意事業

◆地域包括支援センター運営経費

市内2ヶ所の地域包括支援センターの運営経費

◆高齢者成年後見制度利用支援経費

認知症、知的障がい、精神障がい等の理由により判断能力が十分でない者の権利擁護のために、費用を負担することが困難である者に対し、成年後見制度の利用に係る費用の助成を行う。

		R4	R5	R6	R7
審判申立費用	実績額(円)	0	0	0	0
	利用者数	0	0	0	0
後見人等報酬	実績額(千円)	696	1,362	1,164	1,190
	利用者数	3	6	5	7

◆配食サービス事業

調理が困難なひとり暮らし高齢者等に昼食を配達し、栄養補給をするとともに安否確認を行い、高齢者の在宅での生活を支援する事業。令和4年度から配達回数を週1回から週2回までに増加、弁当代自己負担額を1食200円から300円に増額。

	R4	R5	R6	R7
食数	6,234	6,705	7,511	7,369
利用者数(実人数)	129	125	143	130

◆介護用品支給事業

在宅要介護者を介護している者に対し、紙おむつその他の介護用品の購入に要する経費の一部を助成することにより、高齢者及びその家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図ることを目的とする。

第9期介護保険事業計画期間中においても地域支援事業交付金の対象とする経過措置が継続されたことから、対象者を拡大(紙おむつが必要と認められる要介護3の者も対象に加える)し、特別会計の任意事業で運営する。

	R4	R5	R6	R7
実績額(千円)	1,205	1,175	1,380	958
利用者数	32	33	33	22

◆徘徊高齢者家族支援サービス事業

徘徊による事故防止を目的とした探索システム購入費等に対する助成を行う。令和7年度より、瑞浪市認知症高齢者等SOSネットワーク事業登録者に対し、QRコード付シール(みまもりシール)の配布及び個人賠償責任保険の加入ができるよう事業を拡大した。

	R4	R5	R6	R7
SOSネットワーク登録者数	2	5	7	14

◆緊急通報装置保守経費

在宅で生活するひとり暮らし高齢者等の自宅と瑞浪市消防本部との間に緊急時における通報体制を整備することにより、健やかで安心できる生活に寄与する事業。

令和5年10月より24時間対応可能なコールセンター業務を委託。当該業務が地域支援事業交付金の対象となるため、令和5年度より介護保険事業特別会計へ移行。

	R5	R6	R7
新規取付台数[台]	24	27	20
設置総数[台]	146	149	142

◆認知症総合支援事業、認知症サポーター等養成事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活するために医療と介護の連携強化や認知症の人及びその家族へ効果的な支援体制の強化を図る。

認知症高齢者を地域で見守る体制を整備するため、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人や家族に対しできる範囲での手助けをする認知症サポーターの養成を行う。

：普及啓発活動、初期集中支援チーム、認知症カフェ、相談事業、講演会、認知症サポーター養成講座等

【第9期計画指標実績】

指標名 [単位]	R4	R5	R6	R7	R7計画
脳活イキイキ教室 参加者数[実人数]	10	32	29	24	32
認知症初期集中支援チーム 利用者数[人数]	0	2	2	1	2
認知症サポーター養成講座 受講者数(単年度)[人数]	173	343	204	159	165

◆在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の双方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療・介護の連携が推進され、包括的かつ継続的な支援が提供される体制を構築する。

:在宅医療・介護連携推進懇談会、専門研修、市民講座等

【実施計画目標指標実績】

指標名〔単位〕	R4	R5	R6	R7	R7計画
講演会受講者数〔人数〕	39	93	315	110	80

※R6は市政70周年記念事業として認知症総合支援事業と合同開催

◆生活支援体制整備事業

生活支援・介護予防の基盤整備に向けた取り組みを推進する。

:生活支援コーディネーターの配置、協議体の開催等

	R4	R5	R6	R7
第1層協議体開催数	1	1	1	1
第2層協議体開催数(R6までは「支え合いのススメ懇談会」)	4	4	4	4

③(一般会計)高齢者福祉事業

1)生きがい対応型デイサービス(要支援・介護認定者は対象外)

在宅の虚弱高齢者を通所させ、日常生活上の訓練、指導者の各種サービスを提供することにより、その者の自立及び社会参加の促進並びに日々の生活の充実を図る事業。現行では週1回の利用。

福寿荘デイサービスセンター (平成12年度開設 社会福祉協議会委託)	区 分	R4	R5	R6	R7
	利用実人員(登録者数)	18	23	30	31
	利 用 延 人 員	706	830	1,051	1,190
	年 間 延 開 催 回 数	243	242	243	242
	一 日 当 平 均 利 用 者	2.9	3.4	4.3	4.9

桜寿荘デイサービスセンター (平成15年度開設 社会福祉協議会委託)	区 分	R4	R5	R6	R7
	利用実人員(登録者数)	32	28	35	33
	利 用 延 人 員	1,182	1,240	1,243	1,162
	年 間 延 開 催 回 数	243	241	242	238
	一 日 当 平 均 利 用 者	4.9	5.1	5.1	4.9

2)ショートステイ事業(要支援・介護認定者は対象外)

在宅で生活する高齢者を一時的に養護する必要がある場合に、一時的に老人福祉施設等に入所させ、適切な日常生活に対する指導、支援を行い、基本的生活習慣の確立が図られるよう援助する事業。

	R4	R5	R6	R7	委託先
短期入所措置実人員	3	0	1	1	美濃陶生苑(みずなみ陶生苑)
利用延日数	13	0	1	7	千寿会(千寿の里)
送迎利用延回数	0	0	0	0	

3)重度障がい者リフト付タクシー

利用者の経済的負担を軽減し、重度障害者等の福祉の増進のため実施する事業。対象者は在宅で身体障がい者手帳1級又は2級で寝たきりの状態にある者又は65歳以上の要介護3以上で寝たきりの状態にある者。

	R4	R5	R6	R7
年度末登録者数	3	4	3	6
実利用者数	3	2	2	5
利用回数	10	4	8	46

4)高齢者関係団体への補助

長寿クラブの活動やシルバー人材センターへ補助金を交付し、活動を支援する。

【第9期計画目標実績】

指標名〔単位〕	R4	R5	R6	R7	R7計画
長寿クラブ連合会登録会員数〔人数〕	990	896	829	740	896
シルバー人材センター登録会員数〔人数〕	257	246	265	250	230